

点検
商法

強引

不安

許しません！悪質な訪問販売

令和7年度神奈川県
悪質な訪問販売 撲滅！
キャンペーンナビゲーター
たてかわ はれ すけ
落語家・立川晴の輔さん

県は、悪質な訪問販売から県民を守るため、「悪質な訪問販売 撲滅!かながわ宣言」を行い、事業者団体と共に、取り組みを進めています。



詳しくは2・3面でご紹介

【上記記事に関する問合せ】 県消費生活課 ☎045(312)1121内線 2630 FAX 045(312)3506

詳しくはこちら

県の人口と世帯

(令和7年9月1日現在)

総人口



9,217,647人

男



4,566,767人

女



4,650,879人

前年同月比



7,026人減

世帯数



4,443,856世帯

県のたよりホームページ版

<https://www.pref.kanagawa.jp/tayori/>



※総人口には性別不詳を含むため、男女の合計と一致しない場合があります ※国勢調査結果集計中のため、令和7年10月1日以降の人口と世帯数は現在公表していません



無料で点検は今すぐ契約に要注意!

「点検」と称して電話や訪問を行い、点検後に「交換が必要」突然「点検する」と言われても、冷静に対応し、不要な点検や

「修理をしないと危険」などと言い、不安をあおり契約させる点検商法が増加しています。契約をしないよう注意しましょう!

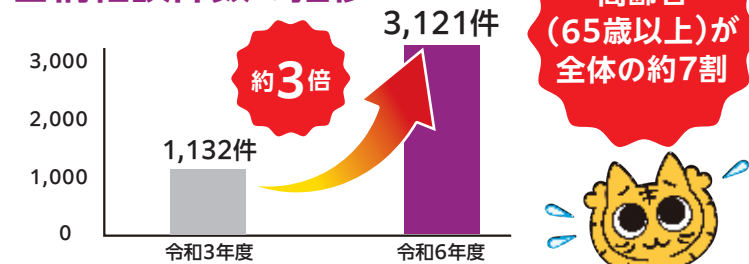
詳しくはこちら



「点検商法」に関する苦情相談が過去最多

県内の消費生活相談窓口では、特に分電盤や給湯器の交換、屋根工事の点検商法に関する相談が多くなっています。

苦情相談件数の推移



高齢者(65歳以上)が全体の約7割

立川晴の輔 特別出演オリジナル小冊



悪質な訪問販売の手口や対処法、困ったときの相談窓口を楽しく、分かりやすく解説しています。

動画はこちらから ※公開は3月6日まで



PICK UP!

春の引っ越しで増える!? 賃貸住宅トラブルを防ぐポイント

国土交通省作成「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」についてはこちら



- 契約前に契約書類をしっかり確認!**
 特に、「鍵の交換費用」や「ハウスクリーニング費用」を借主負担とする特約(*)は有効となるため、必ずチェックしましょう。
 ※本来貸主が負担すべき建物の経年劣化や通常損耗による修繕費用を、契約で借主が負担すると取り決める特約
- 入居時の状態を記録!**
 壁や床の傷・汚れ、エアコンが動作するかなどを確認しましょう。
 写真やメモを不動産会社に共有しておくことで安心です。
- 退去時の精算内容は冷静に確認!**
 修繕費・清掃費などを請求されたら、契約内容と照らし合わせて確認しましょう。
 納得できない点があれば、貸主に説明を求め、その内容を記録しておきましょう。

知事メッセージ

頼みもしないのに自宅にやって来て、「無料点検をしています」「修理をしないと危険ですよ」などと不安をあおって工事をして、法外な金額を請求する「点検商法」。こんな悪質な点検商法に関する昨年度の苦情相談件数は3,000件を超え、過去最多となっていて、トラブルは後を絶ちません。

県は事業者団体と共に、「悪質な訪問販売 撲滅! かながわ宣言」を行い、法律に基づく適正な勧誘が行われるよう事業者へ働きかけるとともに、消費者団体とも連携しながら、ライフステージに応じた消費者教育に取り組んでいます。また、悪質な事業者に対しては、行政指導・処分を行っています。

点検商法の手口はさまざまです。突然業者が訪問してきても、安易に家に上げないでください。そして、一度家族や地元の信頼できる業者に相談するなど、冷静に対応しましょう。もし契約してしまったも、クーリング・オフによる解約ができる場合もあります。

少しでも不安に思ったら、消費者ホットライン「188(いやや)」にすぐ電話をしてください。くれぐれもだまされないように、お気をつけください。

神奈川県知事 黒岩祐治



CASE 2 給湯器

無料のガス点検に来ました。給湯器が劣化しています。古い機種なので、このまま使うのは危険です。



すぐに点検を承諾せず、契約しているガス会社などに本当に点検を実施しているか確認しましょう。

CASE 3 屋根工事

屋根が浮いているのが見えたので、無料で点検します。このままだと雨漏りするので、修理した方がいいですよ!



その場ですぐに点検させず、家族や地元の信頼できる業者に相談するなど、慎重に判断しましょう。



見知らぬ業者が「点検に来た」と訪問してきても断りましょう。点検を断っても業者が帰らない場合は、110番に通報しましょう。契約した後でもクーリング・オフができる場合があるので、消費者ホットライン等で相談しましょう。



契約トラブルで困ったときは

点検商法やしつこい勧誘、納得できない契約でお困りの際には、一人で悩まずに専門の窓口にご相談しましょう。



【全国共通】消費者ホットライン

188

※通話料金がかかります

【上記記事に関する問合せ】 県消費生活課 ☎045(312)1121内線2640、2641 ☎045(312)3506

vol.76 ともいきバトン 今月は、株式会社横浜銀行 地域戦略統括部の皆さんに伺いました!

「ともいき」の輪を広げていきたい!

株式会社横浜銀行では、「ともいき」の輪を広げていけるようさまざまな取り組みを行っています。「ともいきアートの活動」や「困難を抱えるこども」の支援に取り組むNPO法人を助成する「(はまぎん)ミライを創るアクションプログラム」を実施し、これまで県内で活動する19団体を支援してきました。また、ボランティア活動により行員一人一人が社会貢献の意識を持てるよう取り組んでいます。2月7日(土)に県と共に「ともに笑おう 考えよう! ともいきフェス」を本店1階のはまぎんホール ヴィアマーレで開催します。今後も支援を通じ多くの行員の行動につながるよう取り組んでいきたいと思っています。

このコラムでは、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念に共感していただいている方々のメッセージをご紹介します。



大津 由希さん(左)、若尾 果鈴さん(右)

株式会社横浜銀行の社会貢献活動についてはこちら



ともに生きる 新章

ともに生きる社会かながわ憲章

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

平成28年10月14日 神奈川県

憲章についてはこちら



【ともいきバトンに関する問合せ】 県共生推進本部 ☎045(210)4961 ☎045(210)8854

「輝くプラント」

写真:平塚市・滝田 さおりさん

プラントが輝き、煙がたなびく千鳥町の工場夜景に目を奪われました。

- ▶ 場所: 千鳥町(川崎市川崎区)
- ▶ 撮影: 令和6年1月



編集／発行(毎月1日発行)
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
神奈川県 政策局 知事室
☎045(210)1111(代表)
☎045(210)3662 045(210)8834



県公式X(旧Twitter)
@KanagawaPref_PR

※記事は1月14日時点の内容であり、変更になる場合があります

開催まで
あと1年

**かながわ
冬の国スポ2027**

第81回 国民スポーツ大会冬季大会 アイスホッケー競技会

国内最大級のスポーツの祭典が、神奈川・横浜で開催されます。迫力満点のプレーと、**時速150kmで飛び交う氷球のスピード**にぜひご注目ください!

令和9年1月31日(日)～2月4日(木) | **KOSÉ新横浜スケートセンター(横浜市港北区)**
横浜銀行アイスアリーナ(横浜市神奈川区)



詳しくは
こちら



県スポーツ
情報公式X



神奈川県PRキャラクター
かながわキンタロウ



第73回国民体育大会(現・国民スポーツ大会)冬季大会アイスホッケー競技会 神奈川・横浜開催の様子



第80回大会
神奈川県代表(成年男子) **松浦 大貴選手**

“氷上の格闘技”とも呼ばれるアイスホッケーは、スピードが醍醐味です!リンクを駆け抜ける選手たちの華麗なスケート技術や、攻防にご注目ください。



第80回大会
神奈川県代表(少年男子) **田村 勇和選手**

アイスホッケーは攻守の切り替わりが早く、迫力満点なところが魅力です。一人でも多くの人に見てほしいので、ぜひ会場にお越しください。

【上記記事に関する問合せ】 県スポーツ課 ☎045(285)0797 FAX 045(662)5557

地域見守り活動を知っていますか?

詳しくは
こちら



県は、孤立死・孤独死等の恐れがある世帯をいち早く発見し、支援につなげることを目的として、新聞や宅配便配達等、個人宅を訪問する機会のある67の事業者(令和7年12月1日現在)と「地域見守り活動に関する協定」を締結しています。

事業者が業務で個人宅を訪問した際に、配達された商品が残されていたり、郵便物や新聞がたまっているなどの異変を感じ、生命の危険が予測される場合、市町村や警察、消防に通報することで、地域見守り活動を実施しています。



通報件数

2,358 件



人命救助につなげた通報

204 件

(平成24年5月～令和7年8月)



人命救助につながった通報例

令和7年4月、60代男性宅へ商品を配送した際に、前日に配送した商品がそのまま残されていたことから異変を感じ、宅配センターを通じて市町村へ連絡。その後、市町村の担当者が改めて男性宅を訪問したところ、玄関先で男性が倒れていたため、病院へ救急搬送し、一命を取り留めた。



生活協同組合ユーコープ
おうちGO-OP海老名センター
うみの さんぽん
海野 妍延さん

搬送後の状況を聞いて安心しました。普段から利用者との会話を大切に、体調の話題が出た際には「病院へ行ってみては」など声をかけるよう心掛けています。今後も地域見守り活動をしていきたいです。